

太田商工会議所管内景況調査報告書

(第 1 1 7 回)

2026年1～3月期	実績
------------	----

2026年4～6月期	見通し
------------	-----

太田商工会議所

〒373-8521 群馬県太田市浜町3-6

TEL 0276(45)2121

FAX 0276(45)1088

URL <http://www.otacci.or.jp>

E-Mail info@staff.otacci.or.jp

太田商工会議所 景況調査 目次

調査要項	1
調査目的や対象企業〈業種〉、回答率など	
(1) 設問に対する業種別回答	2
9つの質問に対する業種別による回答状況	
(2) 業種別D I 値について	5
6つの業種ごとのD I 値及び回答企業からのコメント	
(3) 全体D I 値について	9
全ての業種を併せたD I 値と1年間の推移	
(4) 【参考】現在直面している経営課題の指摘率	10
8つの選択肢に対する回答状況(3つまで選択可)	
(5) 比較資料編	11
同様の景況調査を行っている機関とのデータ比較 (中小企業基盤整備機構、日本商工会議所L O B O調査、日銀短観)	

【調査要項】

1. 目的

管内経済動向を把握し、併せて経営者への情報提供とするとともに、今後の経営指導の資料とする。

2. 調査時点及び対象期間

- ① 調査時点 2026年3月
- ② 調査対象期間 今期(2026年1～3月期)に対する
前期(2025年10～12月期)及び
前年同期(2025年1～3月期)との比較実績、
並びに今後3ヶ月間の業況見通しについて調査。

3. 調査対象

当所会員事業所の業種を5つ(製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業)に分類し、製造業に関しては、更に「輸送機器」と「その他製造業」に分けた。

調査対象先の企業数については、太田商工会議所会員事業所の業種割合にて按分し、下記の通り調査を実施した。

4. 回答状況

	依頼数		回答数	回答率
全体	270	→	215	79.6 (%)
輸送機器	40	→	31	77.5 (%)
その他製造	40	→	36	90.0 (%)
建設業	50	→	43	86.0 (%)
卸売業	30	→	26	86.7 (%)
小売業	40	→	28	70.0 (%)
サービス業	70	→	51	72.9 (%)

5. DI値について

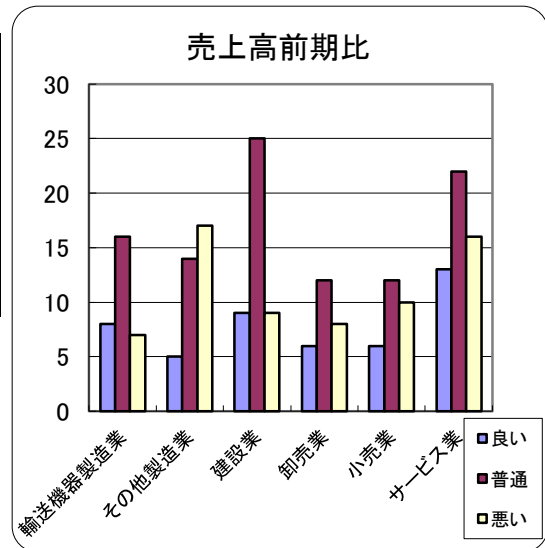
DIとは、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、良い(増加)と答えた企業の割合から、悪い(減少)と答えた企業の割合を引いたもので、企業経営者の景況判断をみる指標である。

(例:ある設問において、「良い」と答えた企業…15% 「悪い」と答えた企業…25%の場合、DI値は▲10.0となる。)

(1)設問に対する業種別回答

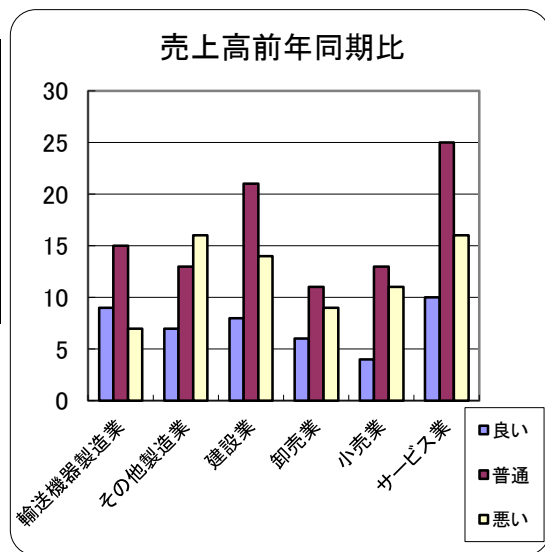
売上高前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	8	16	7	31	3.2
その他製造業	5	14	17	36	▲ 33.3
建設業	9	25	9	43	0.0
卸売業	6	12	8	26	▲ 7.7
小売業	6	12	10	28	▲ 14.3
サービス業	13	22	16	51	▲ 5.9
合計	47	101	67	215	▲ 9.3



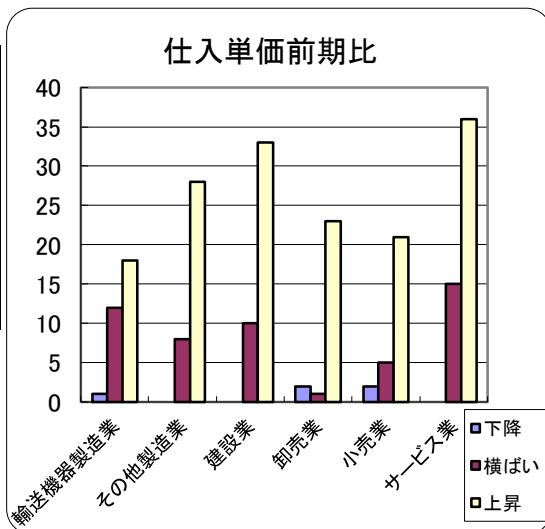
売上高前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	9	15	7	31	6.5
その他製造業	7	13	16	36	▲ 25.0
建設業	8	21	14	43	▲ 14.0
卸売業	6	11	9	26	▲ 11.5
小売業	4	13	11	28	▲ 25.0
サービス業	10	25	16	51	▲ 11.8
合計	44	98	73	215	▲ 13.5



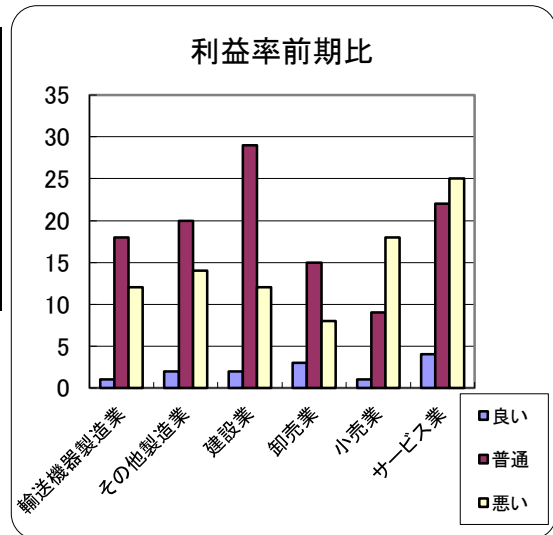
仕入単価前期比

	下降	横ばい	上昇	合計	DI値
輸送機器製造業	1	12	18	31	▲ 54.8
その他製造業	0	8	28	36	▲ 77.8
建設業	0	10	33	43	▲ 76.7
卸売業	2	1	23	26	▲ 80.8
小売業	2	5	21	28	▲ 67.9
サービス業	0	15	36	51	▲ 70.6
合計	5	51	159	215	▲ 71.6



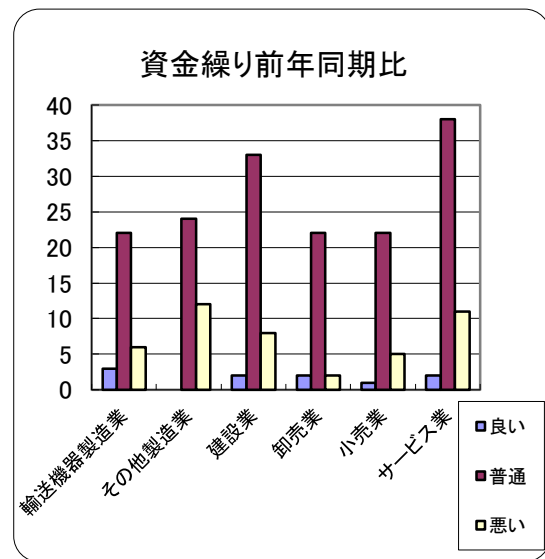
利益率前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	1	18	12	31	▲ 35.5
その他製造業	2	20	14	36	▲ 33.3
建設業	2	29	12	43	▲ 23.3
卸売業	3	15	8	26	▲ 19.2
小売業	1	9	18	28	▲ 60.7
サービス業	4	22	25	51	▲ 41.2
合計	13	113	89	215	▲ 35.4



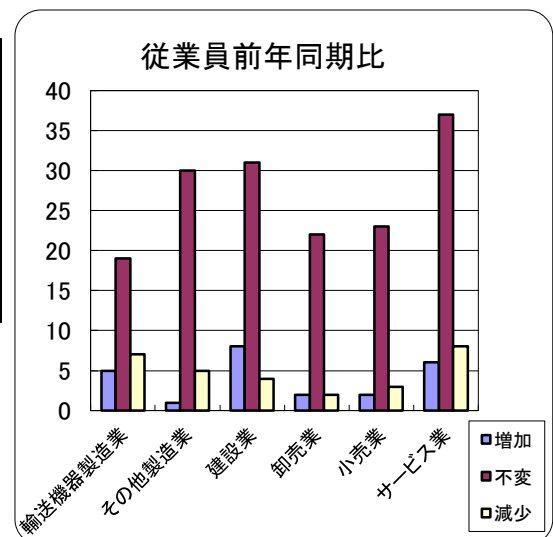
資金繰り前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	3	22	6	31	▲ 9.7
その他製造業	0	24	12	36	▲ 33.3
建設業	2	33	8	43	▲ 14.0
卸売業	2	22	2	26	0.0
小売業	1	22	5	28	▲ 14.3
サービス業	2	38	11	51	▲ 17.7
合計	10	161	44	215	▲ 15.8



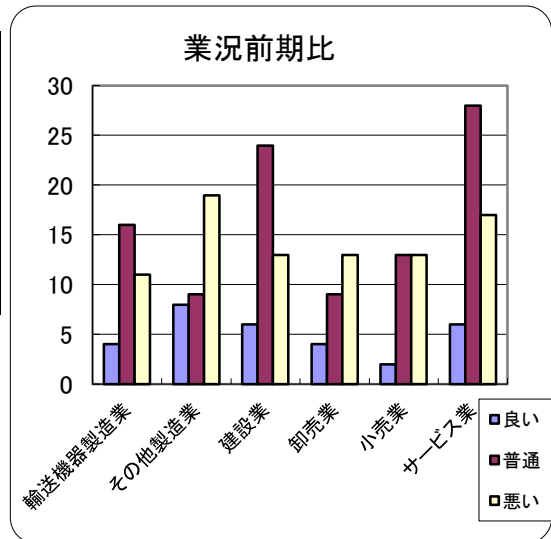
従業員前年同期比

	増加	不変	減少	合計	DI値
輸送機器製造業	5	19	7	31	▲ 6.5
その他製造業	1	30	5	36	▲ 11.1
建設業	8	31	4	43	9.3
卸売業	2	22	2	26	0.0
小売業	2	23	3	28	▲ 3.6
サービス業	6	37	8	51	▲ 3.9
合計	24	162	29	215	▲ 2.3



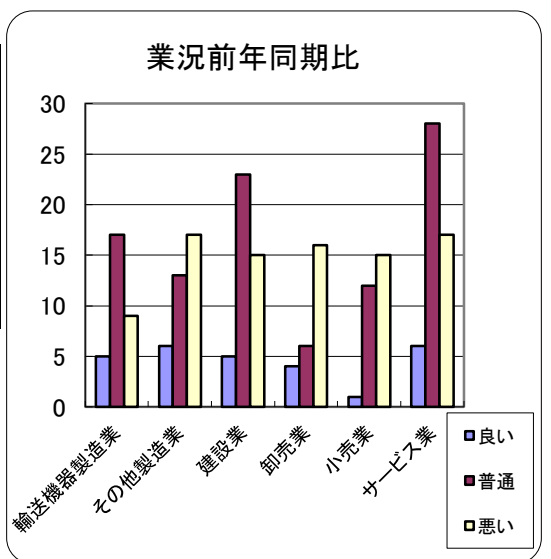
業況前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	4	16	11	31	▲ 22.6
その他製造業	8	9	19	36	▲ 30.6
建設業	6	24	13	43	▲ 16.3
卸売業	4	9	13	26	▲ 34.6
小売業	2	13	13	28	▲ 39.3
サービス業	6	28	17	51	▲ 21.6
合計	30	99	86	215	▲ 26.1



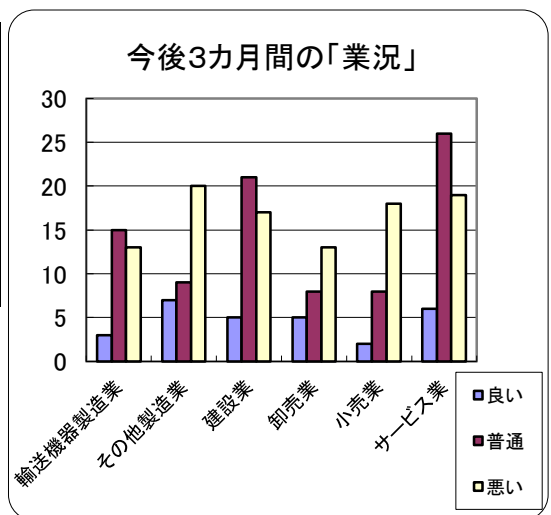
業況前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	5	17	9	31	▲ 12.9
その他製造業	6	13	17	36	▲ 30.6
建設業	5	23	15	43	▲ 23.3
卸売業	4	6	16	26	▲ 46.2
小売業	1	12	15	28	▲ 50.0
サービス業	6	28	17	51	▲ 21.6
合計	27	99	89	215	▲ 28.8



今後3ヶ月間の「業況」見通し

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	3	15	13	31	▲ 32.3
その他製造業	7	9	20	36	▲ 36.1
建設業	5	21	17	43	▲ 27.9
卸売業	5	8	13	26	▲ 30.8
小売業	2	8	18	28	▲ 57.2
サービス業	6	26	19	51	▲ 25.5
合計	28	87	100	215	▲ 33.5



(2)業種別DI値について

輸送機器	前期(10~12月期)	今期(1~3月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 29.4	3.2	32.6
売上高前年同期比	▲ 55.9	6.5	62.4
仕入単価前年同期比	▲ 52.9	▲ 54.8	▲ 1.9
利益率前期比	▲ 47.1	▲ 35.5	11.6
資金繰り前年同期比	▲ 20.6	▲ 9.7	10.9
従業員前年同期比	▲ 20.6	▲ 6.5	14.1
業況前期比	▲ 41.2	▲ 22.6	18.6
業況前年同期比	▲ 52.9	▲ 12.9	40.0
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 17.7	▲ 32.3	▲ 14.6

[企業コメントより]

- ・業界全体が冷え込んでいる。開発が少なく、見通しは明るくない【金属加工業】
- ・戦争の影響により、新規の仕事も受注減、材料(シンナー)の入荷見通し不透明な状態【プラスチック塗装業】
- ・先行きが不透明すぎて不安しかない。仕事があっても(仕事依頼)、人件費や諸経費増で利益率が低迷している。求人を出してもほとんど応募が来ない。年度末にしては、生産量があまりない【パイプ加工業】
- ・輸出の仕事が減少している為、売上が増加しない【自動車部品製造業】
- ・受注低調改善のため、営業の拡大【プラスチック真空成型業】

その他製造業	前期(10~12月期)	今期(1~3月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 10.3	▲ 33.3	▲ 23.0
売上高前年同期比	▲ 25.6	▲ 25.0	0.6
仕入単価前年同期比	▲ 61.5	▲ 77.8	▲ 16.3
利益率前期比	▲ 38.5	▲ 33.3	5.2
資金繰り前年同期比	▲ 20.5	▲ 33.3	▲ 12.8
従業員前年同期比	▲ 10.3	▲ 11.1	▲ 0.8
業況前期比	▲ 20.5	▲ 30.6	▲ 10.1
業況前年同期比	▲ 41.0	▲ 30.6	10.4
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 23.1	▲ 36.1	▲ 13.0

[企業コメントより]

- ・アメリカ/イスラエルVSイランの戦争の長期化により、主に石油製品の材料不足による価格の高騰が今後予想され、製造業としては、大変、厳しい時代に突入すると思われる【板金加工業】
- ・原材料費が高止まる中、製品に転嫁しきれていないのが悩みです。輸入製品が安過ぎる為。在庫を多めに持って、突然の多量需要等でも、即対応体制。求人難は、機械モデルの新設により、優しく扱える様に検討中【シート製造業】
- ・イラン戦争により、先行き不透明感が生じ、便乗値上げを含む原価上昇が見え始めてきた。ガソリン減税により、景気は上向くものと推察していたが、雲行きは怪しくなっている。電気・ガス・ガソリン等への補助金は必須であり、財政出動に期待する【食品製造業】
- ・不安定な世界情勢で先の見通しが立たない。特に、プラスチック材が5月から値上げと、いつまで材料が手に入るかもわからない。加工に使うオイル関係、梱包材や必要な物がこれから先、入手困難になってしまったら、売上を上げるどころではなくなってしまうので、国の早めの対応をお願い致します【プラスチック部品加工業】
- ・関連業者等の高齢化が問題である。対処に頭を悩ませている【ニット製造業】
- ・値上げ交渉が不調で苦勞している。見通しは厳しい【パレット製造業】
- ・この先、鋼材が値上するので、心配です【住宅関連製造業】

建設業	前期(10~12月期)	今期(1~3月期)	比較増減
売上高前期比	0.0	0.0	0.0
売上高前年同期比	▲ 4.4	▲ 14.0	▲ 9.6
仕入単価前年同期比	▲ 73.3	▲ 76.7	▲ 3.4
利益率前期比	▲ 11.1	▲ 23.3	▲ 12.2
資金繰り前年同期比	▲ 6.7	▲ 14.0	▲ 7.3
従業員前年同期比	4.5	9.3	4.8
業況前期比	▲ 11.1	▲ 16.3	▲ 5.2
業況前年同期比	▲ 6.7	▲ 23.3	▲ 16.6
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 24.4	▲ 27.9	▲ 3.5

[企業コメントより]

- ・コストプッシュへの対策。労務単価上昇対策【給排水工事業】
- ・原材料高については、価格転嫁することで対応している【総合建設業】
- ・現在の景況はやや上向いているものの、材料価格や燃料費の高騰が続き、利益率は低下しています。加えて、人件費の上昇も懸念材料であり、エネルギー価格の動向次第では先行きに不透明感が増す状況です【空調工事業】
- ・中東情勢によりナフサ危機！シンナー系は入荷できず。これからかなりの材料価格上昇！なるようにしかならぬ状況になってきた感がある【防水工事業】
- ・本業の軸は、ぶらさずに、商品や提供できる技術を増やしている【建設業】

卸売業	前期(10~12月期)	今期(1~3月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 19.2	▲ 7.7	11.5
売上高前年同期比	▲ 19.2	▲ 11.5	7.7
仕入単価前年同期比	▲ 69.2	▲ 80.8	▲ 11.6
利益率前期比	▲ 19.2	▲ 19.2	0.0
資金繰り前年同期比	▲ 15.4	0.0	15.4
従業員前年同期比	15.4	0.0	▲ 15.4
業況前期比	▲ 26.9	▲ 34.6	▲ 7.7
業況前年同期比	▲ 38.5	▲ 46.2	▲ 7.7
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 34.6	▲ 30.8	3.8

[企業コメントより]

- ・太田市リフォーム支援補助金につき、資金繰りも悪化している状態です。市の補助予算は、前年度より、大変、減少になりビックリしました。申請受付も遅すぎです。契約も出来ないの、工事も進められません。仕事があっても売上に計上出来ません。大変、困っています【住宅機器販売業】
- ・従来のプラスチックリサイクル品は、売上が低調であるが、新ビジネスである触媒関係は、販売が増加傾向にあり、今後に期待している。【プラスチック廃材卸売業】
- ・自動車の開発情報が直近で見えていない状況で厳しい環境【金型部品販売業】
- ・原油不足によるプラスチック、ポリエチレン、発泡品などの材料高騰と、材料メーカーの減産により入荷不足が発生している。原油の状況により更に状況の悪化が懸念される【物流・自動車資材卸売業】
- ・従来の原材料高騰に加え、中東情勢悪化に伴う材料調達問題を理由に緊急の価格改定や受注停止の案内が多数届いている。中東情勢・北米の諸問題をなんとかして欲しい【電設資材卸業】
- ・取引先の経営難により、価格転嫁交渉が進んでいない。業務効率化等による生産性向上の検討【器具販売業】
- ・事業承継問題【事務機器卸業】
- ・市場が高齢化に向かって年率4~5%伸びておりますので、原材料高と人件費ほかの経費増は吸収できているが、求人難は、問題ありと考えております【医療機器卸業】

小売業	前期(10~12月期)	今期(1~3月期)	比較増減
売上高前期比	3.1	▲ 14.3	▲ 17.4
売上高前年同期比	▲ 25.0	▲ 25.0	0.0
仕入単価前年同期比	▲ 68.8	▲ 67.9	0.9
利益率前期比	▲ 50.0	▲ 60.7	▲ 10.7
資金繰り前年同期比	▲ 25.0	▲ 14.3	10.7
従業員前年同期比	▲ 6.3	▲ 3.6	2.7
業況前期比	▲ 25.0	▲ 39.3	▲ 14.3
業況前年同期比	▲ 40.6	▲ 50.0	▲ 9.4
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 53.1	▲ 57.2	▲ 4.1

[企業コメントより]

- ・配達があるので、軽油上昇は痛いです。仕入単価が上昇しているが価格転嫁が難しい酒がある。自販機の電気使用量が高騰している。OTACO(オタコ)は良いが他は手数料をとられるので、利益減である【酒小売業】
- ・有難い事に、お客様からの紹介やサロンをリサーチして、お見えになる新規様がいらして、活性化につながっております。厳しい側面は、多々ありますが、何とか維持できていることに感謝しかありません【エステ等販売業】
- ・今のところ売上は、好調であるが、今後、経費・人件費の上昇による利益率の悪化が見込まれる。弊社の特徴であるリアル接客を伴う小売業態は、営業時間・休日の取り方を含めて、不人気であるようです【飲料品販売業】
- ・令和8年産備蓄米の4月14日実施がアナウンスされたが、相場を左右するほどの材料になっていない【米穀・雑貨販売業】
- ・中東不安が一番！！さらなる値上がりの予感がする【嗜好品販売業】

サービス業	前期(10~12月期)	今期(1~3月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 6.0	▲ 5.9	0.1
売上高前年同期比	0.0	▲ 11.8	▲ 11.8
仕入単価前年同期比	▲ 60.0	▲ 70.6	▲ 10.6
利益率前期比	▲ 24.0	▲ 41.2	▲ 17.2
資金繰り前年同期比	▲ 18.0	▲ 17.7	0.3
従業員前年同期比	▲ 10.0	▲ 3.9	6.1
業況前期比	▲ 14.0	▲ 21.6	▲ 7.6
業況前年同期比	▲ 10.0	▲ 21.6	▲ 11.6
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 8.0	▲ 25.5	▲ 17.5

[企業コメントより]

- ・米価の高騰により、販売価格に転換出来ず、とても資金繰りが大変【飲食業】
- ・商品(料理・弁当等)の売価を上げない為に努力をしています。合理化／生産性が大事になってくると考えます。良い原材料を見つけて仕入れる努力をする事が課題と考えます【飲食・サービス業】
- ・原材料高・人件費高・光熱費高が経営を圧迫しています【喫茶店業】
- ・メイン業界の自動車業界の低迷と燃料高のコスト高による経費増で経営を圧迫している。いつになったら下請まで仕事がまわってくるのだろうか【鉄回収業】
- ・値上げ交渉が厳しい状況である【不動産業】
- ・金利上昇に伴う返済額の増加・原油の供給不安で材料の確保が難しくなる。人材確保をするために、有料の人材紹介を利用する必要がある等【自動車整備業】

・燃料費高騰【自動車輸送業】

・小企業として、今が我慢のしどころで季節に寄っても売上が異なるので、年間通しての売上が出ればいいかなと思う。でも、悪くなったね。【食品製造販売業】

・原材料、食材価格の上昇によって、収益面で徐々に厳しくなっています【飲食店業】

・ある取引業者から、5、6月の輸入ものの中には2割増価格が上昇するものがあるとの連絡がありました。原料の値上げ含みのお知らせが複数来ています。売価の見直しを余儀なくされると考えています【飲食店業】

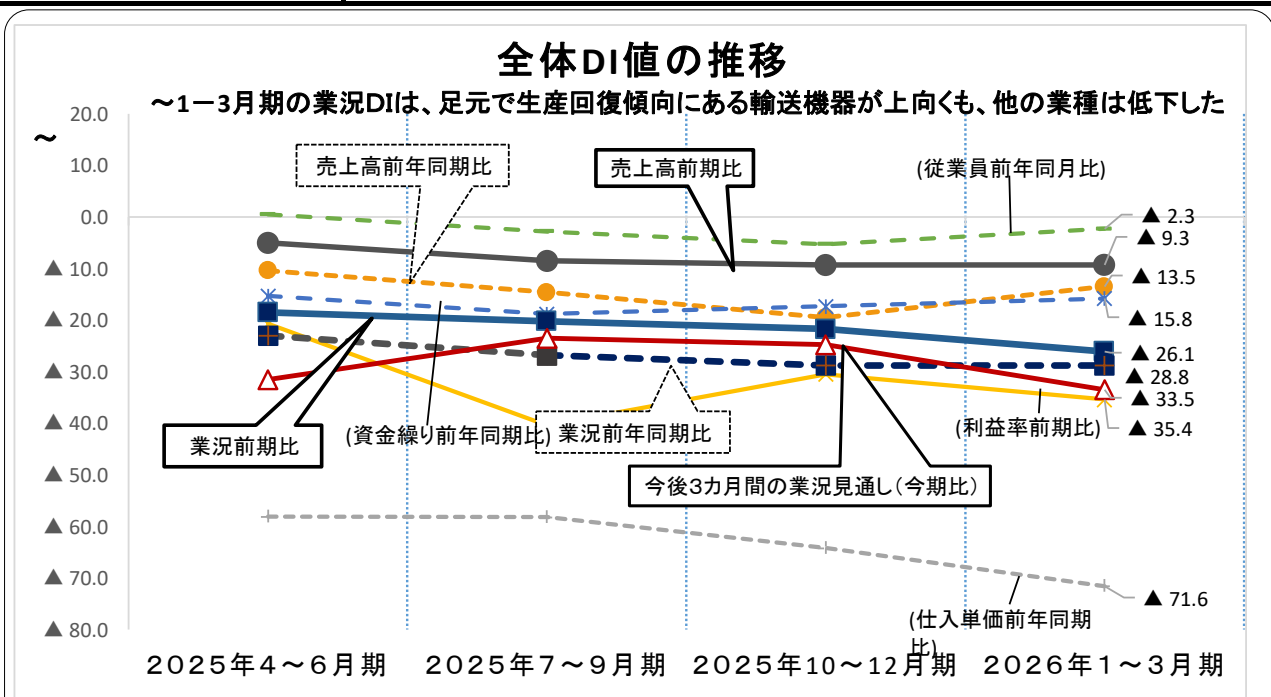
(3) 全体DI値について

全 体 D I 値	前期(10~12月期)	今期(1~3月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 9.3	▲ 9.3	0.0
売上高前年同期比	▲ 19.5	▲ 13.5	6.0
仕入単価前年同期比	▲ 64.2	▲ 71.6	▲ 7.4
利益率前期比	▲ 30.5	▲ 35.4	▲ 4.9
資金繰り前年同期比	▲ 17.3	▲ 15.8	1.5
従業員前年同期比	▲ 5.3	▲ 2.3	3.0
業況前期比	▲ 21.7	▲ 26.1	▲ 4.4
業況前年同期比	▲ 28.8	▲ 28.8	0.0
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 24.8	▲ 33.5	▲ 8.7

<動向について>

- ・令和8年1~3月期の全体ベースでは前期比で売上DIは横ばい、業況DIはやや低下した。前期比業況DIは足元生産回復傾向にある輸送機器が上向くも、他の業種は低下した。
- ・仕入価格DI・利益率DIは全体ベースでともに悪化した。業種別には仕入価格DIが小売業を除き全ての業種で悪化。利益率DIは製造業腫で上向くも他の業種は悪化が目立つ。
- ・先行き3カ月間の業況見通しDIは全体ベースで低下を見込んでおり、卸売業を除く全業種が悪化方向を予想している。目下の流動的な国際情勢の行方を注視したい。

全 体 D I 値 の 推 移	2025年4~6月期	2025年7~9月期	2025年10~12月期	2026年1~3月期
売上高前期比	▲ 5.0	▲ 8.5	▲ 9.3	▲ 9.3
売上高前年同期比	▲ 10.4	▲ 14.6	▲ 19.5	▲ 13.5
仕入単価前年同期比	▲ 58.1	▲ 58.2	▲ 64.2	▲ 71.6
利益率前期比	▲ 20.7	▲ 40.4	▲ 30.5	▲ 35.4
資金繰り前年同期比	▲ 15.3	▲ 18.8	▲ 17.3	▲ 15.8
従業員前年同期比	0.5	▲ 2.8	▲ 5.3	▲ 2.3
業況前期比	▲ 18.5	▲ 20.2	▲ 21.7	▲ 26.1
業況前年同期比	▲ 23.0	▲ 26.8	▲ 28.8	▲ 28.8
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 31.5	▲ 23.5	▲ 24.8	▲ 33.5

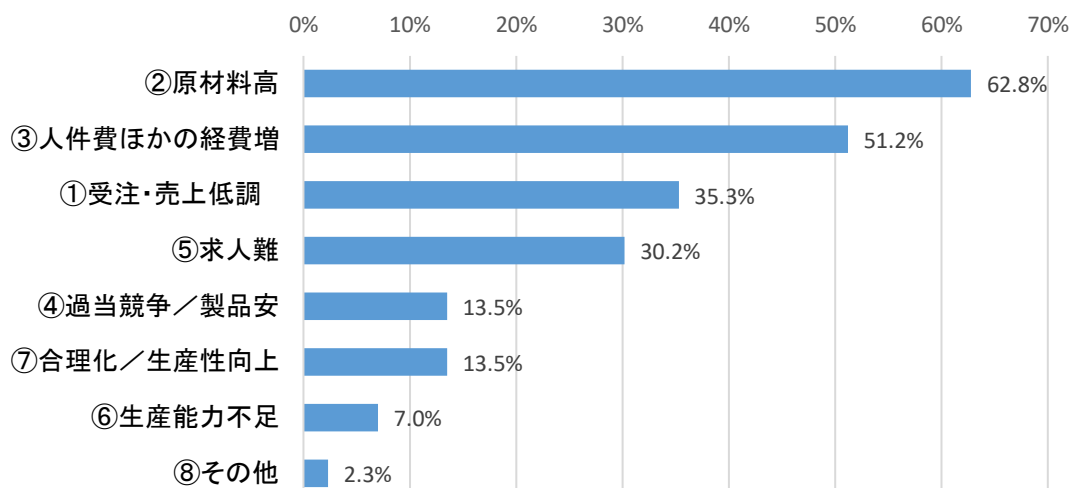


<グラフの見方>

※グラフの実線は前期(今期)比の系列、点線は前年同期比の系列、
マーカーは売上高を●、業況を■、見通しを△とした。

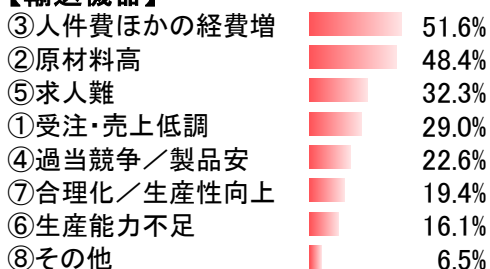
(4) 【参考】 現在直面している経営課題の指摘率～全業種

(各事業所3つまで選択、総数213件に対する割合)

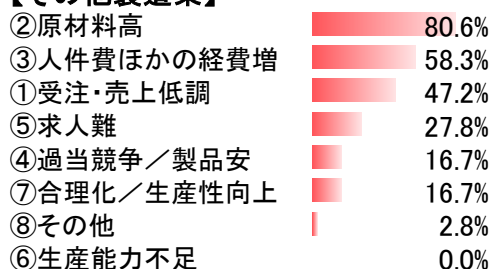


<業種別>

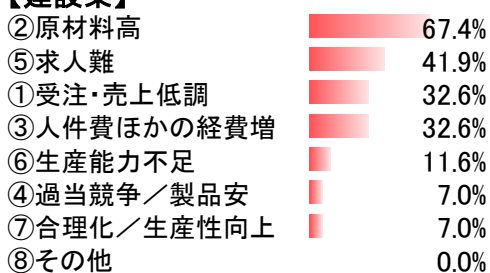
【輸送機器】



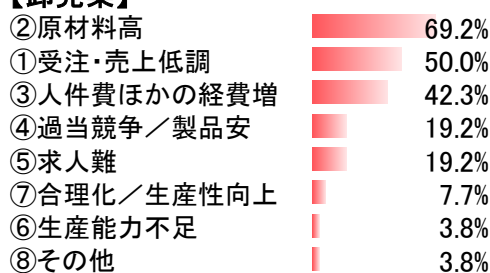
【その他製造業】



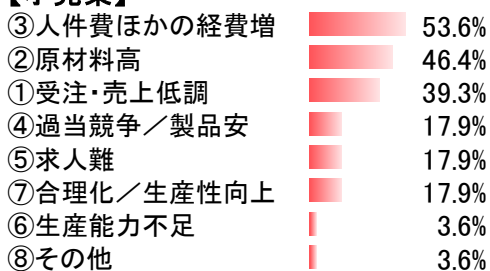
【建設業】



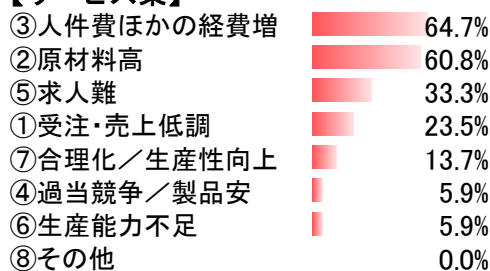
【卸売業】



【小売業】



【サービス業】



(5) 比較資料編

当所調査のDI値をもとに、同様の景況調査を行っている機関とのデータ比較を行った。

(なお、日本商工会議所のLOBO調査については毎月調査となっているため、3か月の平均値でDI値を算出)

①売上高前期比DI (「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 16.4	▲ 8.8	-	-
建設業	0.0	▲ 11.2	-	-
卸売業	▲ 7.7	▲ 9.8	-	-
小売業	▲ 14.3	▲ 21.0	-	-
サービス業	▲ 5.9	▲ 7.7	-	-
全体	▲ 9.3	▲ 11.7	-	-

(売上高・前年同期比)

②売上高前年同期比DI (「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 10.4	-	▲ 5.2	1.2
建設業	▲ 14.0	-	▲ 10.3	
卸売業	▲ 11.5	-	▲ 12.3	
小売業	▲ 25.0	-	▲ 10.1	▲ 0.3
サービス業	▲ 11.8	-	2.0	
全体	▲ 13.5	-	▲ 6.1	0.0

(↑非製造業という括り)

③仕入単価前年同期比DI (「下降」と答えた割合－「増加」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 67.2	-	▲ 56.4	-
建設業	▲ 76.7	-	▲ 64.8	-
卸売業	▲ 80.8	-	▲ 58.7	-
小売業	▲ 67.9	-	▲ 63.6	-
サービス業	▲ 70.6	-	▲ 59.9	-
全体	▲ 71.6	-	▲ 60.4	-

(仕入単価・前年同期比)

④利益率前期比DI (「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 34.3	▲ 18.5	▲ 15.3	▲ 5.4
建設業	▲ 23.3	▲ 20.2	▲ 16.3	
卸売業	▲ 19.2	▲ 17.4	▲ 19.2	
小売業	▲ 60.7	▲ 29.3	▲ 23.4	▲ 3.3
サービス業	▲ 41.2	▲ 22.6	▲ 16.5	
全体	▲ 35.4	▲ 22.5	▲ 17.8	▲ 3.8

(採算・前年同期比) (採算・前年同期比)

⑤資金繰り前年同期比DI (「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(全規模)
製造業	▲ 22.4	▲ 13.3	▲ 12.1	7.0
建設業	▲ 14.0	▲ 7.0	▲ 7.1	
卸売業	0.0	▲ 9.7	▲ 12.0	
小売業	▲ 14.3	▲ 19.6	▲ 17.5	12.0
サービス業	▲ 17.7	▲ 12.1	▲ 12.5	
全体	▲ 15.8	▲ 13.4	▲ 12.4	10.0

(直近比)

⑥従業員前年同期比DI（「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 9.0	▲ 6.5	－	－
建設業	9.3	▲ 5.6	－	－
卸売業	0.0	▲ 4.6	－	－
小売業	▲ 3.6	▲ 4.8	－	－
サービス業	▲ 3.9	▲ 4.8	－	－
全体	▲ 2.3	▲ 5.4	－	－

⑦業況前期比DI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 26.9	▲ 15.9	－	7.0
建設業	▲ 16.3	▲ 11.3	－	20.0
卸売業	▲ 34.6	▲ 15.1	－	3.0
小売業	▲ 39.3	▲ 26.5	－	8.0
サービス業	▲ 21.6	▲ 15.4	－	10.0
全体	▲ 26.1	▲ 17.6	－	13.0

(業況・前年同期比)

(サービス業は宿泊・飲食の数字)

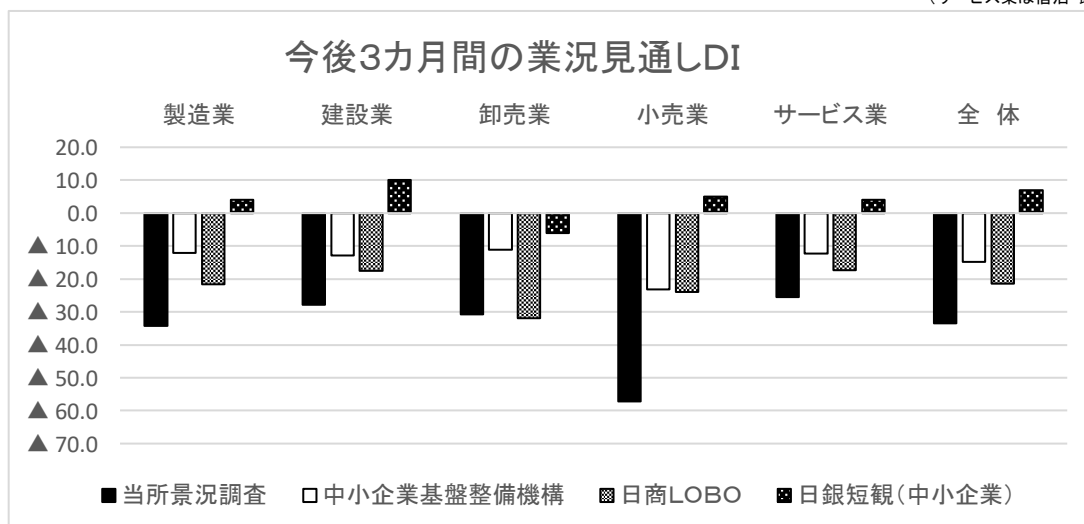
⑧業況前年同期比DI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 22.4	－	▲ 16.6	－
建設業	▲ 23.3	－	▲ 14.8	－
卸売業	▲ 46.2	－	▲ 25.8	－
小売業	▲ 50.0	－	▲ 25.0	－
サービス業	▲ 21.6	－	▲ 13.4	－
全体	▲ 28.8	－	▲ 18.2	－

⑨今後3ヶ月間の業況見通しDI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 34.3	▲ 12.1	▲ 21.6	4.0
建設業	▲ 27.9	▲ 12.8	▲ 17.6	10.0
卸売業	▲ 30.8	▲ 11.1	▲ 31.9	▲ 6.0
小売業	▲ 57.2	▲ 23.2	▲ 24.0	5.0
サービス業	▲ 25.5	▲ 12.3	▲ 17.3	4.0
全体	▲ 33.5	▲ 14.8	▲ 21.5	7.0

(サービス業は宿泊・飲食の数字)



太田商工会議所管内景況調査報告書

～調査・分析・発行～

太田商工会議所

〒373-8521

群馬県太田市浜町3-6

TEL 0276 (45) 2121

FAX 0276 (45) 1088

URL <http://www.otacci.or.jp>

Mail info@staff.otacci.or.jp

2026年（令和8年）4月20日 発行